

パウダーマシン

Lio 2C

取扱説明書



ブルーマチックジャパン株式会社

日本語対応版 Rev1.1

目次

安全上のご注意	3
主な仕様	6
各部の名称	7
準備	8
メニューの抽出方法	9
排水トレイフロートについて	9
パウダーの補充方法	10
定期的なクリーニング	11
1. 毎日のクリーニング.....	11
2. 週1回のクリーニング.....	14
3. 月1回のクリーニング.....	16
4. 年1回のクリーニング.....	19
エラー番号 トラブルシューティング	20
消耗品について	21
保障とアフターサービスについて	22

安全上のご注意

(安全に関する重要事項です必ずお読みください)

本製品を使用する際には、ご使用前に安全上のご注意をよくお読みになり正しくお使いください。

表示されているマークの説明



警告

この表示は、誤った取扱いすると、人が死亡または重傷を負う可能性があること示しています。



注意

この表示は、誤った取扱いすると、人が傷害を負ったりその他の人的物的損害が起きる可能性があること示しています。

全般的な注意事項



警告

- 製品の分解や修理は認定されたサービスマン以外では絶対に行なわないでください。修理や分解組立が正しく行なわれないと、製品が正常に作動せずに水漏れや感電や火災などの原因となります。(但し、取扱説明書に記載されている清掃や調整は、手順に従って行えば安全です。)
- 本体を改造しないでください。感電や火災の原因となります。
- 異常が発生した場合には、速やかに電源スイッチを切り、本体の電源プラグを抜いて、すぐに販売店もしくは、サービスセンターに連絡をしてください。(電源スイッチを切る時や電源プラグを抜く時は、感電や火傷に注意してください。)
- 本体の内部にある部品や電気配線、配管などには手や体を接触させないでください。火傷や感電の原因となります。
- この製品が原因でサーキットブレーカーや漏電遮断機が作動をした可能性があるときには、速やかに電源スイッチを切り、本体の電源プラグを抜いて販売店もしくはサービスセンターに連絡をしてください。そのまま使用すると感電や火災などの原因となります。
- 本体に水がかかったり、付近でガス漏れの可能性がある場合には直ちに使用を止めてください。ガス漏れの際には使用されているガス器具の注意事項に従って引火や爆発の危険を避けてください。
- 製品を移動する場合には、電源プラグが抜かれていること、本体内部に水やパウダー等が無く、十分に冷えていることを確認して行ってください。火傷や感電の原因となります。
- 電源プラグや電源コードを濡れた手で触らないでください。感電の原因となります。



注意

- 電気製品を使用する際には火事、感電、怪我の危険を避けるために、常に安全のための基本的な注意事項を守ることが大切です。電気製品を取り扱う際の一般的な注意事項に従ってご使用ください。
- 製品の点検やお手入れをする時には、取扱説明書に従い、主電源を切り、電源プラグを抜いて行ってください。感電や火傷怪我の原因となります。
- 電源プラグをコンセントへ抜き差しする時には、電源プラグや電源コードの取扱いに十分に注意をしてください。また、電源コードに人や物が絡まったり、つまずいたり、踏まれたりしないようにしてください。感電や火災や怪我の原因となります。
- 長時間製品を使用しないときには、本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

専用コンセントをお使いの場合にはコンセントを電源から抜いてください。

また、本体内部の水やパウダー等を全て取り出し、洗浄を行ってください。

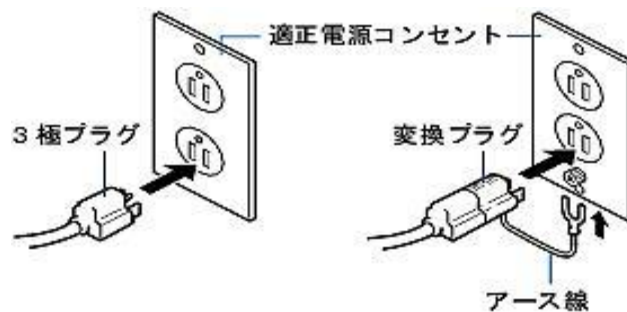
- 表面が熱くなっている部分には触れないでください。火傷や怪我の原因となります。
- 火事、感電や怪我を防ぐために電源コード、プラグや電気製品を水や液体に浸さないでください。
- 子供が電気製品を使用するときは十分に子供を監督し、子供の近くで電気製品を使用するときには、細心の注意を払ってください。
- 部品の取付、取外しまたは清掃をする時には十分に温度が下がった状態で行なってください。
- コードやプラグが傷んでいたり正常に動かない時には作動をさせないでください。
- 付属品以外のものを使用しないでください。火事、感電や怪我の原因になることがあります。
- 野外では使用しないでください。
- 電源コードが卓上、カウンター上または表面が熱くなる場所の上などに垂れ下がらないようにしてください。
- ガスコンロ、電熱器や熱くなったオープンの上やそばに置かないでください。
- 最初にマシン側に電源コードを差し込んだ後でプラグをコンセントに差し込んでください。
- マシンの電源スイッチをOFFにしてから電源コンセントからプラグを取り外してください。
- 本来の目的以外には使用はしないでください。
- スチームやお湯が抽出されている時には十分に注意をしてください。火傷や怪我の原因となります。
- このマシンは業務用のマシンです。

設置及び据付時の注意事項

本製品は、使用及び保守の訓練を受けた要員だけに制限されている場所または訓練を受けた要員が監視できる場所に据付してください。

警告

- 本体に供給する電源の工事を行う場合には電気設備工事の専門技術者が行き、電源の容量の確認を行う等、設備工事に不備が無いようにしてください。感電や火災、本製品の故障の原因になります。
- 製品の据付は認定されたサービスマン以外は絶対に行なわないでください。
- 据付を行なう時には、本体の電源コードを損傷させたり、無理な配線をしたりしないようにしてください。電源コードが傷んだままで使用をすると感電や火災、本製品の故障の原因になります。
- 電源コンセントの形状は接地コンセントタイプのものをお使いください。アースが不完全な場合には感電の危険性があります。
- 漏電遮断機の設置をお願いします。



注意

- 設置及び据付を行なう際には本体を落下させたり倒したりしないでください。落下や転倒などにより怪我の原因となります。
- 据付をする場所は平坦で水平な場所で、十分に製品の重量に耐えられる場所に設置してください。不安定な場所に設置をすると落下や転倒などにより怪我の原因となります。
- 天然木や天然石の上に置く場合、日常の作業やマシンの洗浄中に水滴や飛沫が飛散し、表面を汚したり変質の原因となることがあります。水や洗浄液飛沫がついても影響の無い材質の上に設置するか、直接飛沫が触れないように保護を行なってください。
- 設置周辺温度は5～35℃になる場所で、直射日光が常に当たる場所、埃や塵が多い場所、湿気が高い場所、振動がある場所などには設置をしないでください。内部の電気部品などの故障の原因となります。
- 本体の周囲に熱がこもらない様に周囲の壁や家具や機器などから10cm以上離して設置してください。熱がこもると電気部品などの故障の原因となります。
- 水道に直結する場合には0.5メガパスカル(MPa)以下の圧力であることを確認してください。高い場合には減圧弁を使用してください。
- 使用する際は、浄水器の設置をお奨めします。硬度の高い環境でご使用の場合は、軟水装置を取り付けることをお奨めします。
- 純水や純度の高い水を使用しないでください。水位センサーが水位の検出ができず、漏水の原因になります。

操作を行なう時の注意事項

注意

- 初めて使用する時、数か月以上使用しなかった後は、キャニスター等の食品に触れる部品は洗浄してください。
- 抽出操作を行なう前に、ノズルの位置に注意し、カップを置いてください。また、高さの低いカップの場合は、カップ置台を用意してください。抽出中は、パウダーマシンから十分離れてください。抽出液や熱湯の飛沫により火傷の原因になります。
- パウダーマシンの作動中、パウダー用キャニスターの中に手を入れないでください。怪我の原因になります。
- 抽出ライン(ミキサー等)の洗浄は規定どおりに実施してください。洗浄を行わず放置しておくと、系統内に残った抽出液等に細菌が繁殖して衛生状態を悪化させます。
- パウダー用キャニスターは定期的に内部をよく清掃してください。放置しておくと雑菌が繁殖することがあります。
- パウダー用キャニスター内にパウダーが入っている状態でパウダー用キャニスターを取り外す時には、手順に従って取り外してください。無理矢理外そうとしますとパウダー用キャニスターが破損します。
- 前面パネルのクリアー部分(アクリル製)にアルコール類を使用すると破損します。使用はしないでください。
- 外した部品は乾燥機や食器洗浄機に入れると破損します。使用はしないでください。

使用時とメンテナンス時の注意点

- マシンを正しくお使いいただくために、説明書に従って操作を行なってください。メンテナンス及び安全性の確認は操作内容を十分に理解して行ってください。
- 水の供給をしない状態でマシンを使用しないでください。故障の原因となります。
- 0度以下になる室内に水系統から水抜きをしないままマシンを放置しないでください。凍結により故障の原因となります。
- 機器の清掃には、高圧水洗浄機を使用しないでください。

主な仕様

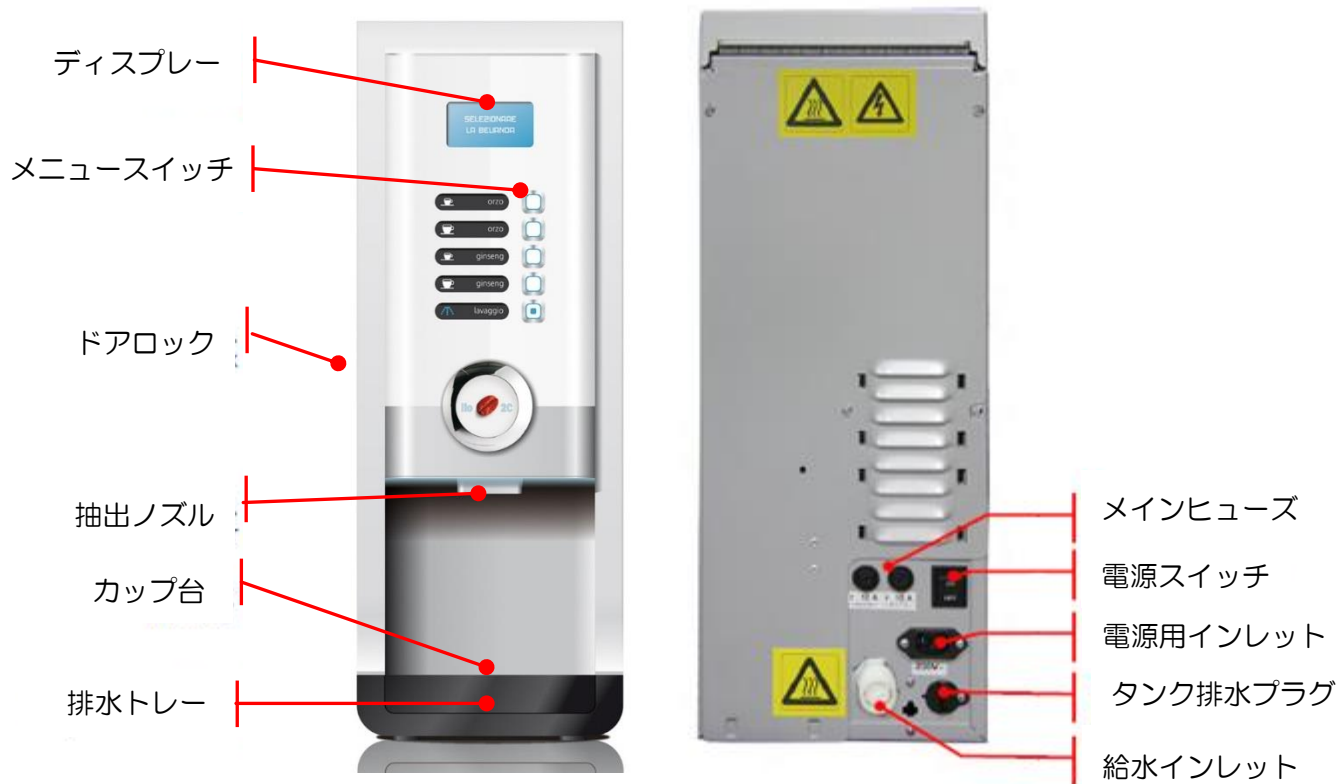
項目	仕様
幅	210mm
高さ	540 mm
奥行き	430mm
重量[非満水時]	15kg
パウダー用キャニスター種類 ※粒度によって重量に差があります	大:幅 110mm、約 1.6Kg 小:幅 55mm、約 0.8Kg
パウダー用キャニスター構成	大×1+小×1(標準)
ミキサー	2
メニュー数	5
排水トレイ容量	900cc
ボイラー容量	1.3L
ポンプ	内蔵式 ポンプ
電気容量/電流(KW/A)	920 KW / 9.2A
使用電源	100V ±10% 50 / 60 Hz
電源コード	約 2m
水道圧	0.1～0.5 メガパスカル(MPa)
給水接続方法	15A バルブ止め
水硬度	50 以下(ppm)
使用温度・保管温度	5 - 35 ° C
使用湿度	80% 以下

(注)凍結の恐れがある場合にはマシン内の水を抜いてください。

(注)お湯では無く必ず水を給水してください。

(注)水以外の飲料(例えばミルクなど)やミネラルウォーター類、純水や純度の高い水は
使用しないでください。

各部の名称

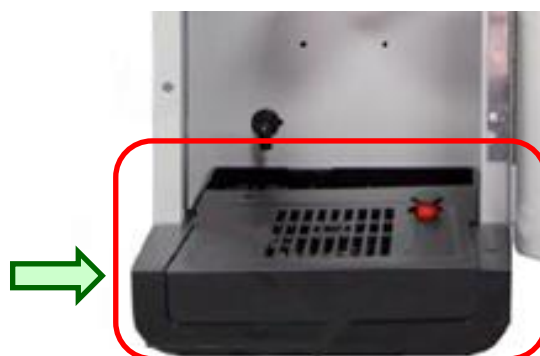


準備

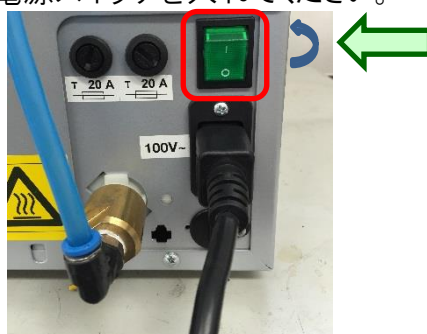
1. 給水栓を開いてください。
2. ドアロックを解除し、正面カバーを開けて、パウダーがキャニスターに十分入っているか、確認をします。



3. 排水トレイが空であることを確認します。



4. 正面扉を閉じ、ドアロックを行った後、電源スイッチを入れてください。



5. タンク内の水を加熱し、準備ができれば、下記のメッセージが表示されます。

カップラ
オテクダサイ

メニューの抽出方法

1. 抽出ノズルの下に、カップを置いてください
2. 希望するメニューのメニュースイッチを押してください。
3. 抽出が終了すると、カップ付近のLED が赤色に点滅します。



排水トレーフロートについて

排水トレーに排水が溜まると、排水トレーすこの排水フロートが浮き、目視確認ができます。
中に溜まった排水を捨てると元の位置に戻ります。

※フロートが完全に浮くと 900cc程トレーに溜り、トレーを抜く際に
こぼれてしまうことがあります。

※フロートが完全に浮くと前面扉を開ける際に引っ掛かります。
フロートの頭を指で押さえながら扉を開けてください。

※フロートの頭が浮き始めたら排水を捨てることをお勧めします。



注：排水トレーに飲料等は流さず、シンク等に捨ててください。

注：汚れ等によりフロートが引っ掛かり、満タンになっても浮かないことや浮きが悪い事があります。
浮きが手で動かないか確認してください。

パウダーの補充方法

1. ドアロックを解除して、正面カバーを開き、上面カバーを上を開けます。
2. キャニスターの蓋を開け、パウダーを補充してください。



パウダー用キャニスター



パウダーの残量が少ないと、同じメニューでの供給量が大きく変化する場合があります。

パウダーの残量が下記を下回ったら、パウダーを追加することをお勧めします。

大:約 300g 小:約 150g

常に新鮮なメニューでご提供していただくために、おおよそ 1 日の消費量を補充することをお勧めします。

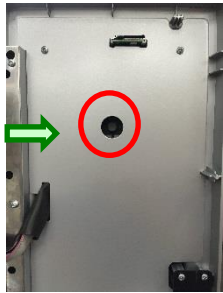




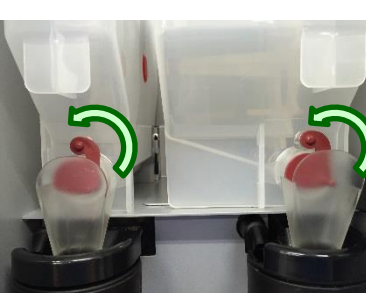
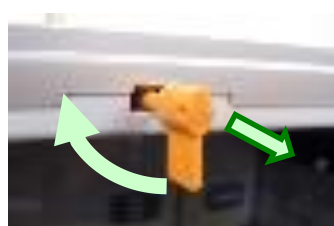

定期的なクリーニング

1. 毎日のクリーニング

1日の運転の終了時等、1日に1回、清掃する内容です。

(1). パウダーシューターの清掃

<p><1> ドアロックを解除して、正面カバーを開けてください。</p> 	<p><2> パウダー用キャニスターの出口蓋を閉じてください。</p> 	<p><3> 付属のブラシを使い、パウダーシューター付近に付着しているパウダーを取り除いてください。</p>  <p>付着したパウダーが取りにくいときは、キャニスターを取り外し洗浄してください。 ※「月1回のクリーニング」を参照</p>
<p><4> サービスキーをドアスイッチ用穴に挿入し、90度回転させて固定し、通電してください。</p> 	<p><5> 排水トレーを手前に引き出し、中の水を全て排水してください。 ※洗浄の際 200cc</p> 	
<p><6> トレーを中に入れてください。</p> 	<p><7> 抽出待機状態になったら、正面扉の後ろに手を回し、プログラミングモードスイッチを押すと、メニュー選択画面が現れます。</p> 	<div style="background-color: #003366; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> <p>1=プログラム 3=テストペント</p> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  交互に表示 </div> <div style="background-color: #003366; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> <p>2=データ 4=クリーニング 5=メンテナンス</p> </div>

<p><9> [4]スイッチを押して、CLEAN を選択してください。</p> <div style="background-color: #000080; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> 2=データー 4=クリーニング 5=メンテナンス </div> <p>※<10>から<12>の作業は、続けて行ってください。 ※時間がかかると、カス箱や周辺に湯が漏れる場合があります。 *湯が溢れても故障ではありません。</p>	<p><10> クリーニングの選択メニューが現れます。</p> <div style="background-color: #000080; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> クリーニング 1-2-3-4 </div> <p>[1]スイッチを押すとミキサー1(左)のク洗浄が始まります。</p> <div style="background-color: #000080; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> クリーニング 1 </div>	<p><11>終了するとクリーニングの選択メニューに戻ります。</p> <div style="background-color: #000080; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> クリーニング 1-2-3-4 </div> <p>続いて、[2]スイッチを押すとミキサー2(右)の洗浄が始まります。</p> <div style="background-color: #000080; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> クリーニング 2 </div>
<p><12>終了するとクリーニングの選択メニューに戻ります。</p> <div style="background-color: #000080; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> クリーニング 1-2-3-4 </div> <p>※3、4は5 使用しません。 3、4 を押した場合は画面のみ変わりますが何も作動しません。 しばらくすると、クリーニングの選択メニューに戻ります。</p>	<p><13>正面扉の後ろに手を回し、プログラミングモードスイッチを押すと、メニュー選択画面が現れます。</p> 	<p><14>排水トレイを手前に引き出してください。</p> 
<p><15>中の水を全て排水してください。 汚れが目立つ様ならスポンジ等で水洗いをしてください。</p>  <p style="color: red;">注: 食器洗い機等には入れないでください。</p> 	<p><16>トレイを中に入れてください。</p> 	
<p><17>パウダー用キャニスターの出口蓋を開いてください。</p> 	<p><18>サービスキーをドアスイッチから取り外し、元の位置に戻します。</p>  	

<19> 正面カバーを閉じて、ドアロックをかけてください。



<20> 続けて週1回のクリーニングや月1回のクリーニングをしない場合、あるいは、1日の使用を終了する場合等は、メイン電源を切って(「0」側)ください。



2. 週1回のクリーニング

※毎日のクリーニングの後に、ミキシングボール、排水トレー、カス箱等の洗浄を行います。

(1) 毎日のクリーニングを行ってください

(2) ミキシングボールの取り外し洗浄

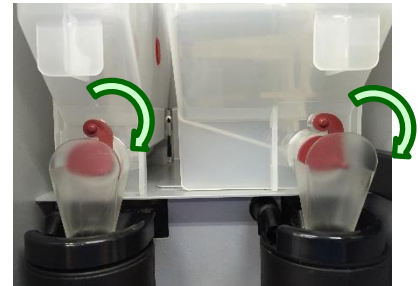
<1>ドアロックを解除して、正面カバーを開けてください。



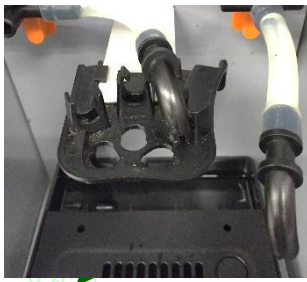
<2>排水トレーを手前に引き出してください。



<3>パウダー用キャニスターの出口蓋を閉じてください。



<4>抽出ノズルサポートから、パウダーノズルを取り外してください。



<5>ミキシングボールのオレンジ色の固定レバーを時計回りに約 30 度回して緩める。

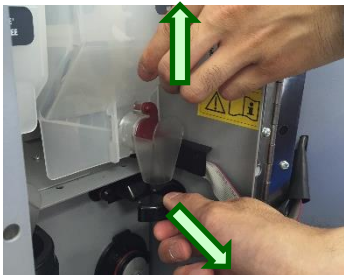


<6>手前に引っ張り、取り外してください。



<7>パウダーキャニスターを少し持ち上げ、エア吸引口を手前に引きだして、取り外してください。

キャニスターを手で持ち上げる



<8>ミキシングボールの洗浄。

ミキシングボールとカバーリングに分けて洗浄してください。

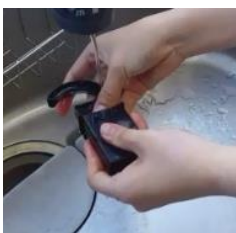
チューブの穴は、ブラシを使って洗浄してください。

パウダーが固まって取りにくいときは、温水に漬け置きし洗浄してください。

※ 食器洗浄機には入れないでください。



<9>エア吸引口の洗浄。
溝の部分の汚れに注意して洗浄してください。




<10>排水トレーの洗浄。
汚れ具合によりスポンジ等を使い、蓋とトレーとに分けて洗浄してください。



<11>マシン内部の清掃。
硬く絞った布で内部やミキサーを清掃してください。



(3) 洗浄済みの部品の取り付け

<p><1>パウダー用ホッパーを持ち上げ、エア吸引口を挿入してください。</p> 	<p><2>カバーリングの突起部をミキシングボールの溝に合わせてはめ込んでください。</p> 	<p><3>ミキシングボールを持ってはめ込んでください。</p> 
<p><4>オレンジ部を右に回転させて止めてください。</p> 	<p><5>チューブを抽出ノズルサポートに取り付けてください。</p> 	
<p><6>トレーを中に入れてください。</p> 	<p><7>パウダー用キャニスターの出口蓋を開いてください。</p> 	<p><8>正面カバーを閉じて、ドアロックをかけてください。</p> 

3. 月1回のクリーニング

※毎日のクリーニング、週1回のクリーニング後に、抽出ユニット脱着洗浄、キャニスターの洗浄等を行います。

(1) 洗浄部分の取り外し

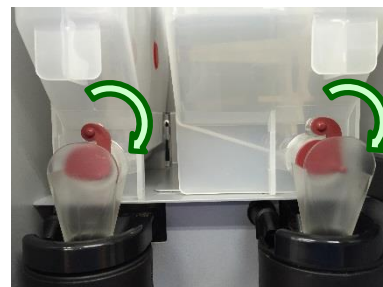
<1>ドアロックを解除して、正面カバーを開けてください。



<2>上面カバーを上を開いてください。



<3>パウダー用キャニスターの出口蓋を閉じてください。





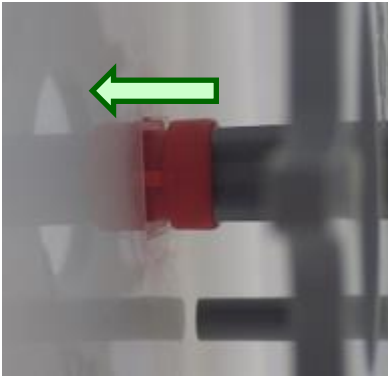

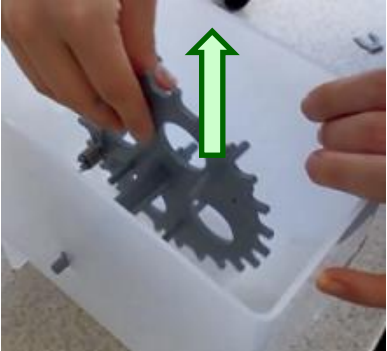
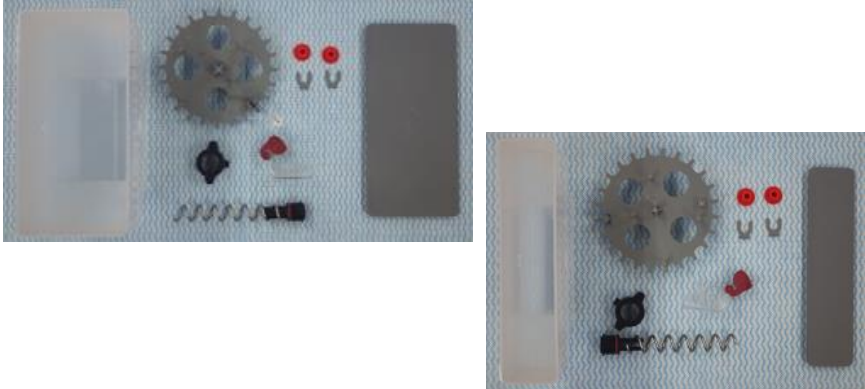


<4>2個のパウダーキャニスターを、持ち上げながら手前に引いて取り外してください。



※残っているパウダーを洗浄後に使用する場合は、適切な容器で保管してください。

(2) パウダーキャニスターの分解

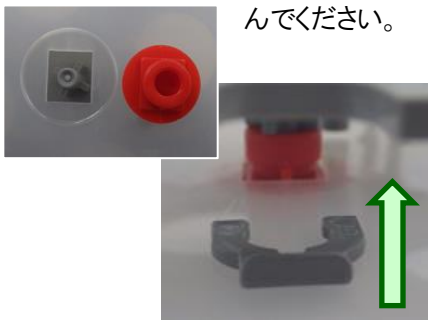
<p><1>パウダーシューターを時計回りに回して外してください。</p> 	<p><2>後の黒のリングナットを時計回りに回して外してください。</p> 	<p><3>スクリューを後ろに押し出してください。</p> 
<p><4>灰色のクリップを上引っ張り上げて外してください。</p> 	<p><5>赤色のプラグを外側に取り出してください。</p> 	<p><6>反対側のクリップとプラグも外してください。</p> 
<p><7>キャニスターホイールを取り出してください。</p> 	<p><1>それぞれの部品を洗浄し、十分乾燥させてください。</p> 	

(3) パウダーキャニスターの組立

<1>キャニスターホイールを取り付けてください。



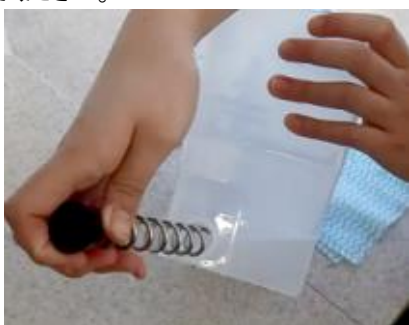
<2>突起のある方が上になるようにプラグを組み付け、クリップを差し込んでください。



<3>反対側も同様にプラグとクリップを組み付けてください。



<4>スクリューを後ろから差し込んでください。



底に突起が出ている側が前です。

<5>リングナットを反時計回りに回してスクリューを固定してください。



<6>パウダーシューターを反時計回りに回して固定してください。

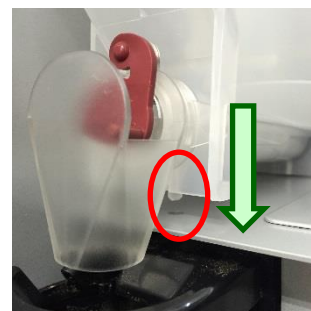


(5) マシン内部の清掃と取り付け

<1>マシン内部を硬く絞った布で清掃してください。



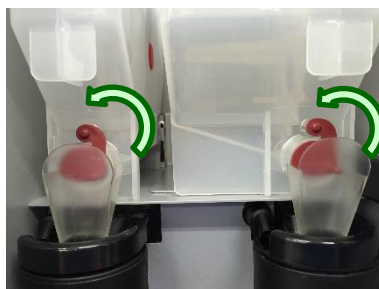
<4>パウダーキャニスターの蓋をした後、黒のリングナットをキャニスターモーターに挿入し、前面の穴にキャニスターの突起を差し込んでください。



<5>上カバーを閉じてください。



<6>パウダー用キャニスターの出口蓋を開いてください。



<7>正面カバーを閉じて、ドアロックをかけてください。



4. 年1回のクリーニング

リングの交換等を行います。

作業は弊社サービスマンが行いますので、お問い合わせください。

エラー番号 トラブルシューティング

エラーコード	内容	対応方法
OFF 5	CPU基板	弊社へご連絡ください。
OFF 6	給水	
OFF 6 A	・給水時間切れ。	水を補充して下さい。(タンク式) 水のバルブが開いているか確認。 給水ホースの折れないか確認。
OFF 6 B	・給水作動停止した状態でボイラーに給水される。	水漏れを起こしていないか、確認してください。 水圧が正常な場合、弊社へご連絡ください。
OFF 14	給水	
OFF 14 B	ボイラーへの給水エラー。 (抽出を行った際に給水が間に合わない。)	水を補充して下さい。(タンク式) 水のバルブが開いているか確認。 給水ホースの折れないか確認。 正常な場合、弊社へご連絡ください。
OFF 24	直流電源	
OFF 24 A OFF 24 B	24V DCの電圧異常	電源OFF/ONを行ってください。 改善しない場合、弊社へご連絡ください。
OFF 33	コーヒー用の水の温度	
OFF 33 A OFF 33 B OFF 33 C	ボイラーの温度異常。	弊社へご連絡ください。

症状	確認項目
・電源が入らない。	① ブレーカーが落ちていないか確認してください。 ② 本体背面の電源スイッチがOFFになっていないか確認してください。 ③ コンセントが抜けていないか確認してください。 ④ 本体背面の電源コネクタが抜けていないか確認してください。
・パウダーメニューの抽出： 1. 味がうすくなった。 2. 出方が悪い。 3. 抽出湯量が減った。 4. 量が少ない。 5. 漏れる	① パウダーがホッパーに十分に入っていますか？ ② ホッパーがマシンに正しくセッティングされていますか？ ③ ホッパー内の部品が正しくセットされていますか？ パウダーをホッパーから全て出して、中のスプリングがスムーズに回転するか確認してください。 ④ ミキサーが正しくセットされていますか？ ⑤ ミキサーのチューブ接続を確認してください。
(アラーム表) OFF ***	エラーコード表を参照

消耗品について

主な消耗品として、以下の部品があります。

部品名称	備考
パウダー用キャニスター、蓋、および付属品	
清掃用ブラシ	
排水フロート	
排水トレイ	
ミキシングボール	
抽出用チューブおよびノズル	
各種 Oリング、ガスケット	
CPU 基板上のバッテリー	
ヒューズ	
サービスキー	

保障とアフターサービスについて

保障とアフターサービス

1. 保証書

- 本書に添付しています。
- 保証書は「お買い上げ日」の記入をお確かめのうえ、お受け取りください。
- 保証書をよくお読みになり大切に保管してください。

2. 修理を依頼される時

取扱書の内容をお確かめ頂き、不具合が直らない時は電源プラグを抜いてから当社に修理についてご相談ください。

●保証期間中の修理

保証書の規定により無料修理致します。当社までお申し出ください。

●保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。当社にご相談ください。

3. アフターサービスについてご不明な場合

- アフターサービスについてのご質問等ありましたら、当社にお問合せください。

アフターサービスを依頼される場合は次の内容をご連絡ください。

- | | |
|-------|-------------------------------|
| ●お名前 | ●商品名 リアベンドーズ社製 パウダーマシン Lio 2C |
| ●ご住所 | ●製造番号 |
| ●電話番号 | ●故障の症状、状況(出来るだけ詳しく) |

修理相談窓口 ブルーマチックジャパン株式会社 横浜:(045)947-0804 大阪:(06)6531-1333

受付時間 : 365日 24時間 ※夜間については、受付業務のみとさせていただきます。

ご使用の際の注意事項

パウダーマシンを常に最適な状態に保つために、定期的な清掃作業を行ってください。

清掃作業は取扱説明書に従い、パウダー粉出口や容器の洗浄をそれぞれ適切に行ってください。

一日の営業開始前及び終了後は取扱説明書に従い洗浄を行ってください。

使用中に、取扱説明書に書かれていない不具合が発生したら直ちに当社へご連絡ください。

パウダーマシン 保証書

型 名	リアベンドーズ社製 パウダーマシン Lio 2C
製 品 番 号	
製 造 番 号	
保 証 期 間	お買い上げの日より1年間
お 買 上 げ 日	年 月 日
お 客 様 お 名 前	
ご 住 所	
電 話 番 号	

無料修理規定

本書は、本書記載内容で、無料修理をさせて頂く事をお約束するものです。

- 1 取扱説明書、本体添付のラベル等の注意に従った使用状況で保証期間内に万一故障をした場合には故障個所の無料修理を行います。
- 2 保証期間内に故障をして無料修理を受ける場合には販売店もしくはサービスセンターに連絡をしてください。
- 3 次のような場合は、保証期間内でも有料修理になります。
 - (1) 使用上の誤り、取扱説明書に記載してある通りの使用をしなかった場合。
 - (2) 取扱説明書に記載されている日常のお手入れを怠った事が原因で発生した故障及び損傷。
 - (3) 使用する水質、水圧等の不良が原因で発生した故障及び損傷。
 - (4) 販売店以外で修理、改造などを行ったことが原因で発生した故障及び損傷。
 - (5) 消耗品、付属品等の消耗による交換及び交換作業。
 - (6) 火災・水害・地震などの天災地変・塩害・公害・異常電圧・過電流など外部要因による故障及び損傷。
 - (7) 落下・転倒・水漏れ・打撲・本体内部の基盤が破損・変形したことなどによる故障及び損傷。
 - (8) 車両などに搭載して使用をしたり移動後に発生した故障及び損傷。
 - (9) 保証書の提示が無い場合及び保証書記載の製造番号と製品の製造番号が異なる場合。
 - (10) 保証書の記載内容が変更、書き換えられている場合。
- 4 本保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- 5 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

※この保証書は本書に明示した期間、条件の下において無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。ご不明な場合には当社にお問い合わせください。

※保証期間は、お買い上げの日より1年間を過ぎた場合は無効となります。

※お客様にご記入いただいた保証書の内容を、修理・サービスに利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

※本製品の使用により、または故障により生じた直接・間接の損害については保証対象外とします。

輸入代理店

ブルーマチックジャパン株式会社
神奈川県横浜市都筑区仲町台 5-4-22



ブルーマチックジャパン株式会社

本社:〒224-0041 神奈川県横浜市都筑区仲町台 5-4-22

051324